

☆質問・疑問に答える(その3)

Q、私立か公立か決めるのをどう考えたらいいですか？

A、 まずは、自分がやりたいことや興味があることをできる学校かどうかを調べましょう。例えば高校で硬式野球をしたければ、野球部が無い学校を進路先の候補にはせず、硬式野球ができる高校を選ぶ可能性が高いでしょう。そのうえで家からの距離や学費、学力などを考慮して、「私立」にするか「公立」にするかを決めるのではないのでしょうか。

先に「私立」か「公立」かを決めるのではなく、まずは自分がしたいことができる環境かどうかを基準に進路先を考えていきましょう。また、「学力が高い学校＝良い学校」とは限りません。自分にとっての「良い学校」とはどんな学校なのか、しっかりと考えていきましょう。自分にとっての「良い学校」の基準を持つことで、「私立」か「公立」かを選びやすくなるかもしれません。



Q、保護者がすべき事はどのようなことがありますか？

A、 進路関係のことで保護者の皆様をお願いしたいことは、「住民票の確認」と「奨学金の申し込みの確認」「入学検定料の振込」です。大阪の公立高校を受験する場合、「保護者と本人の住所が大阪府内にあること」が条件となります。単身赴任等で保護者の住民票が一人でも府外にある場合は「入学志願特別事情申告書」が必要になるので、公立高校の受験を考えておられるご家庭におかれましては、本人と保護者の住所がどちらも大阪府内にあるか、住民票でご確認をお願いいたします。

奨学金の申し込みは二学期に入ってからになります。こちらは締め切り日を過ぎると申し込みできなくなります。こちらも申し込みを考えておられる場合は、後日配布のプリント

(奨学金に関する案内は一学期の懇談でお渡しする予定です)で、必要書類等のご確認をお願いいたします。

入学検定料の振り込みは、公立は銀行の窓口、私立は窓口かインターネットでの振り込みとなります(私立の振込方法は学校によって異なります)。振込時期が近づいて来ましたらお子様を通じて改めて連絡いたします。

Q、目の前のやりたいことを優先すべきかもっと先のことまで考えて選ぶべきかどうかはどうすればいいですか？

A、 将来やりたいことややりたい職業があるのなら、先のことまで考えた進路を選択するのもよいでしょう。しかしその結果、高校生活に後悔する可能性があるなら、目の前のことも大切にしましょう。例えば、将来は弁護士になりたいけどクラブ活動もしたい、というのであれば弁護士になることを優先してクラブ活動を犠牲にする選択がベストかは分かりません。なぜならクラブ活動しながら将来へ向けて勉強したり、クラブ活動をやり切ってから本腰を入れて勉強したりできるからです。しかしクラブ活動を犠牲にした場合、その時間は二度と戻ってきません。人生は一度きりです。後悔せず、自分が納得して進める道を選びましょう。

Q、公立高校受験時にも面接試験はありますか？

A、 面接がある高校と無い高校があります。特別選抜では成城・淀川清流などの総合学科や、大阪わかば・中央といった多部制単位制Ⅰ部Ⅱ部・昼夜間単位制の高校、枚方なぎさの自立支援コースなどで面接が行われます。

一般選抜では東住吉総合や定時制の高校は、選抜方法として「学力検査と面接による選抜」か「小論文と面接による選抜」を選択することができます(「学力検査と調査書による選抜」を選ぶことも可能です)。

Q、何か資格が取れたり、手に職が付くような高校はありますか？

A、 公立私立を問わず資格を取れる高校はたくさんあります。私立では福祉や製菓を重点的に勉強する学科や、工業系の資格を取れる学校もあります。公立では工科高校などで資格を取れます。将来自分がしたいことの資格が取れるかどうか、高校のオープンスクールや学校説明会などで確認してみましょう。



Q、オープンスクールの日程表などはありますか？

A、 公立・私立ともに長尾中学校に届いているオープンスクールの案内は、配布したり教室掲示したりしています。もし、自分が行きたい高校や興味がある高校の案内がなければ、その高校のホームページで確認してみてください。

